

子どもの貧困に立ち向かう

貧困を見つめ、さぐり、なくす

とうとう「子どもの最貧国・日本」といわれる社会状況がつくられてしまいました。病気になっても医者にかかれない子どもが埼玉でも全国でも報告されています。日本は先進国のなかで唯一「子どもの貧困」を増やし、いまだに調査、対策をいっさいやらない国です。貧困は自然に発生するものではありません。政治によって、経済政策、社会政策によって人為的につくられます。「貧困は貧困だけに終わらず」に子どもの潜在能力をしぼませ、未来と希望をうばいます。社会全体の明日を奪います。

貧困をみつめ、なぜかをさぐり、なくすための共同行動が緊急に求められています。

中学3年生の思い

10・3、反貧困ネットワーク埼玉「子どもの貧困シンポジウム」での発言から

まず、受験生ということで気になるのはお金のこと。お金がなくて高校にいけないというのはふつうにありえないよね。義務教育が終わったからって「お金がない人は高校に行くな」といいたくないことを言ってるの？意味わかんねえ。日本は他の国と違って、「お金がある」というのが当たり前になっている今。

お金がない人は周りが気になって、悩みを打ち明けることもできません。修学旅行とかもお小遣いのお金（1万円）が厳しいとも言えず、でも先生は当たり前のようにすめていきます。生活保護は最低限の生活ができる程度のお金しかもらってないのに、そこから1万円をひくのか？1人が3日の修学旅行で1万円を使うって、うちにとってはとても大きいんです。でも、言えないから、なかったら「風邪をひいた」とウソをつくひともいます。

うちはお父さんがいなくてお母さん1人に育てられました。お父さんがいたら働いてくれて、お母さんは家にいてくれて：「みたいなことを思ってた」おかしいと思っていた。お母さんは働いていました。でも、そんなぜいたくはできませんでした。お母さんは倒れてしまって、働けなくなりました。それから、生活保護をもらうようになりました。うちの弟は保育園が少なくて、保育園にいけませんでした。保育園にいけなかったせいか話すことが苦手で、当たり前の言葉とかも覚えていません。家の中の家族だけでは、そんなに言葉を教えることもできないし、外の世界に行くこともすくない。これは普通に将来困るよね。私は学校を休んで弟たちの面倒をみさせられていたこともありました。学校の勉強についていけなくてほんとにこまりました。保育園をもっと増やしてほしい。

このことは大きくなったらちゃんと言おうと思っていて、今になって言いました。

「税金」：みんなから役立つようにもらっているんだから、ちゃんと有効に使って欲しい。